

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 東洋合成工業株式会社

コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 正輝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 松下 将之

TEL 03-3548-4970

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,161	△4.9	371	△47.9	271	△52.8	255	△50.6
23年3月期第2四半期	7,533	30.8	712	—	575	—	517	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 255百万円 (△48.4%) 23年3月期第2四半期 495百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	32.09	—
23年3月期第2四半期	63.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,192	—	6,449	—	26.7	—
23年3月期	22,416	—	6,217	—	27.7	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,449百万円 23年3月期 6,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成23年11月10日)公表いたしました「第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	1.6	630	△35.5	470	△40.4	430	2.0	54.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年11月10日)公表いたしました「第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,143,390 株	23年3月期	8,143,390 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	190,867 株	23年3月期	190,791 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	7,952,561 株	23年3月期2Q	8,108,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成23年11月17日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第2四半期累計期間(6か月)の世界経済は、中国を始めとした新興国により牽引された一方、米国での失業率の高止まりや欧州における財政危機の更なる深刻化、また中国においても景気過熱抑制の動きが見られるなど先行き不透明感が強まりました。

日本経済は、東日本大震災後の最悪期を脱し回復基調は続いているものの、依然として高水準で推移する失業率や円高の継続に加え電力供給不安を抱えるなど、自律的な景気回復には厳しい状況が続いております。

このような状況の中、引き続き当社グループは顧客との関係強化に努め、新規製品の開発や既存製品の拡販に取り組みましたが景気後退の影響等を受け、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,161,200千円(前年同期比△372,646千円、△4.95%)となりました。

損益面では、経費削減や原価低減活動等のコスト対策を継続したものの、大幅な円高に加え、新工場立上げに向けた人員確保に伴う人件費の増加等により、営業利益は371,013千円(前年同期比△341,664千円、△47.94%)、経常利益は271,561千円(前年同期比△303,937千円、△52.81%)、四半期純利益は255,177千円(前年同期比△261,836千円、△50.64%)となりました。

【感光性材料事業】

半導体用途向け感光性材料は、スマートフォンなどの多機能携帯端末を始めとした電子機器の需要拡大が継続し、好調に推移いたしました。一方、液晶用途向け感光性材料は、欧米を中心とした液晶テレビの需要減速に伴うパネルメーカーの稼働率低下を受け、低調に推移いたしました。電解液・イオン液体は、引き続き精力的な需要開拓を進めております。

以上の結果、同事業の売上高は3,540,621千円(前年同期比△392,197千円、△9.97%)となりました。

【化成品事業】

香料材料部門は、新興国を中心に需要は底堅いものの、当社生産設備能力が限界に達しつつあり、売上・利益とも伸び悩みました。また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓を進め、主に電子材料用途の需要取込みにより売上高は堅調に推移したものの、第1四半期の原油高の影響および生産設備の定期修繕工事に伴う稼働率低下が利益を押下げる結果となりました。ロジスティック部門は、顧客満足度の維持・向上に努めた結果、タンク契約率は高水準を維持するとともに、荷動き量も堅調な動きを見せ、売上・利益とも横ばいで推移いたしました。

以上の結果、同事業の売上高は3,620,579千円(前年同期比+19,551千円、+0.54%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は24,192,767千円となり、前連結会計年度末に比べて1,776,119千円の増加となりました。

流動資産は8,583,427千円で、前連結会計年度末に比べて560,184千円の増加となりました。これは主に商品及び製品683,278千円の増加と受取手形及び売掛金263,748千円の減少によるものであります。

固定資産は15,609,339千円で、前連結会計年度末に比べて1,215,935千円の増加となりました。これは主に有形固定資産に係る減価償却費789,108千円による減少と建物及び構築物1,093,131千円及び土地523,661千円の増加によるものであります。

流動負債は11,370,428千円で、前連結会計年度末に比べて1,666,257千円の増加となりました。これは主に流動負債その他に含まれております設備未払金779,523千円と短期借入金577,667千円の増加によるものであります。

固定負債は6,372,745千円で、前連結会計年度末に比べて122,427千円の減少となりました。これは主に長期借入金139,553千円の減少によるものであります。

純資産合計は6,449,593千円で、前連結会計年度末に比べて232,289千円の増加となりました。これは主に利益剰余金231,319千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本日(平成23年11月10日)公表いたしました「第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,076,535	1,094,086
受取手形及び売掛金	2,530,386	2,266,638
商品及び製品	2,970,086	3,653,364
仕掛品	135,569	153,866
原材料及び貯蔵品	996,392	963,229
その他	316,834	454,538
貸倒引当金	△2,560	△2,296
流動資産合計	8,023,243	8,583,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,052,074	5,862,577
機械装置及び運搬具（純額）	2,831,041	2,666,528
土地	4,410,875	4,934,536
建設仮勘定	778,692	828,992
その他（純額）	334,749	352,611
有形固定資産合計	13,407,432	14,645,246
無形固定資産		
のれん	21,519	20,399
その他	420,644	401,236
無形固定資産合計	442,163	421,635
投資その他の資産		
その他	558,984	557,633
貸倒引当金	△15,176	△15,176
投資その他の資産合計	543,807	542,457
固定資産合計	14,393,404	15,609,339
資産合計	22,416,647	24,192,767

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,937,575	2,286,496
短期借入金	6,119,302	6,696,969
未払法人税等	35,434	24,328
賞与引当金	254,622	267,416
災害損失引当金	236,959	199,251
その他の引当金	20,000	—
その他	1,100,277	1,895,966
流動負債合計	9,704,170	11,370,428
固定負債		
長期借入金	4,964,808	4,825,255
退職給付引当金	874,225	885,836
その他の引当金	100,171	103,276
その他	555,967	558,378
固定負債合計	6,495,173	6,372,745
負債合計	16,199,343	17,743,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,151,504	3,382,823
自己株式	△83,162	△83,200
株主資本合計	6,228,819	6,460,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,780	△10,853
その他の包括利益累計額合計	△11,780	△10,853
少数株主持分	264	345
純資産合計	6,217,303	6,449,593
負債純資産合計	22,416,647	24,192,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,533,847	7,161,200
売上原価	5,722,203	5,547,047
売上総利益	1,811,643	1,614,153
販売費及び一般管理費	1,098,965	1,243,139
営業利益	712,677	371,013
営業外収益		
受取利息	272	35
受取配当金	4,502	5,112
技術指導料	17,587	18,588
その他	9,129	18,248
営業外収益合計	31,491	41,984
営業外費用		
支払利息	71,215	70,399
為替差損	93,605	67,052
その他	3,850	3,984
営業外費用合計	168,671	141,436
経常利益	575,498	271,561
特別損失		
固定資産除却損	1,093	2,722
投資有価証券評価損	25,877	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,876	—
特別損失合計	38,848	2,722
税金等調整前四半期純利益	536,650	268,838
法人税、住民税及び事業税	3,319	4,492
法人税等調整額	16,838	9,516
法人税等合計	20,158	14,008
少数株主損益調整前四半期純利益	516,491	254,829
少数株主損失(△)	△522	△347
四半期純利益	517,013	255,177

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	516,491	254,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,997	927
その他の包括利益合計	△20,997	927
四半期包括利益	495,493	255,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	496,016	256,105
少数株主に係る四半期包括利益	△522	△347

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	536,650	268,838
減価償却費	909,384	852,703
のれん償却額	1,526	1,548
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,876	—
引当金の増減額 (△は減少)	58,026	△30,462
受取利息及び受取配当金	△4,775	△5,147
支払利息	71,215	70,399
固定資産除却損	1,093	2,722
売上債権の増減額 (△は増加)	△300,686	263,748
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△165,577	△668,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	216,216	348,920
未払又は未収消費税等の増減額	△48,260	△44,148
その他	57,825	△35,603
小計	1,344,517	1,025,106
利息及び配当金の受取額	4,671	5,147
利息の支払額	△76,539	△68,828
法人税等の支払額	△6,639	△6,723
法人税等の還付額	4,150	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,270,159	954,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△178,032	△1,259,958
有形固定資産の除却による支出	—	△45
無形固定資産の取得による支出	△60,962	△62,462
投資有価証券の取得による支出	△320	△326
貸付けによる支出	△2,000	—
貸付金の回収による収入	1,478	130
その他	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239,836	△1,322,671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,100,000	8,380,000
短期借入金の返済による支出	△6,818,000	△7,856,000
長期借入れによる収入	1,100,000	1,310,000
長期借入金の返済による支出	△1,276,220	△1,395,886
リース債務の返済による支出	△35,384	△25,307
自己株式の取得による支出	△70,583	△38
配当金の支払額	△45	△23,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,000,233	389,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,206	△3,630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,883	17,550
現金及び現金同等物の期首残高	829,473	576,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	847,356	594,086

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,932,818	3,601,028	7,533,847	—	7,533,847
セグメント間の内部売上高 又は振替高	957	432,071	433,028	△433,028	—
計	3,933,776	4,033,099	7,966,875	△433,028	7,533,847
セグメント利益	128,203	584,473	712,677	—	712,677

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,540,621	3,620,579	7,161,200	—	7,161,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	233	369,641	369,875	△369,875	—
計	3,540,855	3,990,220	7,531,075	△369,875	7,161,200
セグメント利益	23,310	347,702	371,013	—	371,013

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。